

## 平成27年度防災アプリケーション公募の概要

誰もが活用できる防災地理空間情報の普及促進に向けて、防災地図共用データベースの整備を図るため、国土地理院と水管理・国土保全局では内閣府等と協力して、平成27年度も引き続き防災アプリの公募を行ないます。

### 1. 応募要件について

平成27年度の防災アプリ公募の対象となる防災アプリは、以下に示す「避難誘導支援用防災アプリ」又は「リスクコミュニケーション用防災アプリ」であって、以下の「① 防災アプリ要件等」を満たす防災アプリとします。また、本取組への応募者については、「② 応募資格」を満たした者とします。

なお、1つの防災アプリが「避難誘導支援」及び「リスクコミュニケーション」のいずれの目的も達する機能を有するアプリケーションの場合は、同時に応募することも可能です。ただし、それぞれの機能ごとに、異なる観点で審査は行われます。

#### **「避難誘導支援用防災アプリ」**

災害の発生が差し迫っている場合や災害が発生した直後に安全で適切な場所へ避難誘導することを目的とするアプリです。

#### **「リスクコミュニケーション用防災アプリ」**

平時から災害への備えを行うことを目的として、自分の住んでいる地域や任意の場所の自然災害に対するリスクを把握・理解し、適切な避難場所や対応方法等に関する共通理解を深め学習することを目的とするアプリです。

#### ① 防災アプリ要件等

- 1) 応募する防災アプリはタブレット端末、スマートフォンのいずれかで動作するものとします。
- 2) 応募する防災アプリは、Android アプリ、iOS アプリのいずれかとします。AndroidアプリについてはAndroid 4.4が搭載されたタブレット端末又はスマートフォンで、iOSアプリについてはiOS8.2が搭載されたiPad又はiPhoneで、それぞれ動作するものとします。
- 3) 応募する防災アプリでは、国土地理院が提供する防災地理空間情報のうち、「実証実験地域に関する防災地理空間情報」の中から少なくとも1項目の情報を活用するものとします。
- 4) 応募する防災アプリで地図を表示する場合には、使用する背景地図として、国土地理院から提供する背景地図データ（地理院タイル形式のデータ。以下「地

理院背景地図タイルデータ」という。)を表示するものとします。ただし、既存システム(API等)を活用するために地理院背景地図タイルデータを表示することが困難な場合は、この限りではありません。この場合は、当該防災アプリで地図を表示する他の少なくとも1つの機能において、地理院背景地図タイルデータを表示できるものとします。

- 5) 応募する防災アプリは、実証実験地域に固有の情報やインフラを使用するものでなく、特定の実証実験地域以外にも容易に全国展開可能であるものとします。
- 6) 応募する防災アプリは、既に公開されているものやそれを改良したもの、他のコンテスト等に応募したもの(応募を予定しているものを含む。)であってもかまいません。また、平成26年度の防災アプリの公募に応募された防災アプリであってもかまいません。
- 7) 応募する防災アプリが有料又は無料であるかは問いません。ただし、本取組における審査や、主催者によるイベント等の実施の際には、応募する防災アプリを無料で利用できるものとします。
- 8) 防災アプリで使用する言語は、日本語とします。ただし、多言語に対応してもかまいません。その場合は、初期設定の状態での使用言語を日本語とします。
- 9) 悪意のあるアプリケーションや公序良俗に反するアプリケーションは対象外とします。

## ② 応募資格

- 1) 個人、グループ、法人を問わず、応募できます。
- 2) 同一の応募者が、複数の防災アプリに応募することもできます。
- 3) 中学生以下の方が応募する場合は、保護者又は監督者(学校の先生等)の許可を得るものとします。
- 4) 暴力団等の反社会的勢力、又は資金提供その他を通じて反社会的勢力の維持、運営、経営に協力又は関与するなど、反社会的勢力との何らかの交流、関与を行っていると思われる場合は応募できないものとします。

## 2. 審査委員会及び審査・実証実験について

応募者より提出された防災アプリについては、防災アプリケーション審査委員会において審査を行い、優れた機能を有する防災アプリを選定し、これを表彰します。

また、審査において優れた機能を持つとして選定された防災アプリの一部又は全部を用いて、神奈川県鎌倉市において平成27年10月下旬～11月上旬に実証実験を行う予定です。

## 3. 国土地理院から提供する防災地理空間情報

防災アプリでは、国土地理院が提供する防災地理空間情報を利用できます。津波浸水予想データや、土砂災害危険区域データ、避難所データなど、平成27年度の実証実験に

神奈川県や鎌倉市から提供を受けて国土地理院において加工・配信する「実証実験地域に関する防災地理空間情報」に加え、平時から国土地理院で提供している標高データ、背景地図データ等が利用可能です。また一部の情報は API での提供も行う予定です。国土地理院から提供する防災地理空間情報の詳細については、国土地理院防災アプリ専用ウェブサイトの募集要項をご覧ください。

#### 4. 問合せ先及び提出先

防災アプリの応募を行う際は、指定の応募様式に必要事項を記載し、受付締切（平成27年5月13日）までに国土地理院防災アプリケーション事務局に電子メール又は郵送により提出するものとします。なお、応募様式の記載に使用する言語は、日本語に限ります。

本概要に関するお問い合わせ、関係書類、防災アプリ等の提出については、下記までお願いします。

- ・ 電子メール: [gsi-bousai-app@ml.mlit.go.jp](mailto:gsi-bousai-app@ml.mlit.go.jp)
- ・ 郵送等 : 〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番  
国土交通省国土地理院応用地理部内  
国土地理院防災アプリケーション事務局
- ・ 電話番号 : 029-864-6269 担当 環境地理情報企画官
- ・ 国土地理院防災アプリ専用ウェブサイト :  
<http://www.gsi.go.jp/kikaku/bousai-app.html>